

【都道府県用中間報告書様式】

都道府県番号	28
都道府県名	兵庫県

【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

・学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
兵庫県学力向上推進地域	834校 (13校)	360校 (23校)	1,194校 (36校)

・学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
神戸地区協議会	170校 (2校)	83校 (2校)	253校 (4校)
阪神南地区協議会	95校 (1校)	45校 (3校)	140校 (4校)
阪神北地区協議会	84校 (1校)	38校 (2校)	122校 (3校)
東播磨地区協議会	76校 (2校)	35校 (2校)	111校 (4校)
北播磨地区協議会	60校 (1校)	26校 (3校)	86校 (4校)
中播磨地区協議会	87校 (2校)	41校 (2校)	128校 (4校)
西播磨地区協議会	78校 (1校)	31校 (3校)	109校 (4校)
但馬地区協議会	83校 (1校)	30校 (2校)	113校 (3校)
丹波地区協議会	44校 (1校)	12校 (2校)	56校 (3校)
淡路地区協議会	57校 (1校)	19校 (2校)	76校 (3校)

・都道府県教育委員会としての支援策

(1) 地区別協議会

本県では、県教育委員会として、各教育事務所で地区別協議会を実施しており、次の点について協議を行っている。

少人数学習集団における指導の在り方

基礎・基本の確実な定着を図るための評価の工夫

教科担任制や選択教科の充実等、学習システムの改善

学校全体で学力向上を図る協力指導體制の構築

地域の人材を学校支援ボランティアとして導入した授業の創造

(2) 域内の各小・中学校（フロンティアスクールを含む）  
実践研究の成果を普及するために、各地区ごとに指導資料を作成し、3月末に管内の全小中学校に配布する。

(3) 実践研究の成果の普及の方策の構築  
県下10地域でフロンティアスクールを会場に、地区別の研修会を開催し、授業研究及び分科会等を通して、実践研究の成果を普及している。

## ・学力把握のための都道府県としての取組について

### 学習状況調査の実施

- (1) 目的  
本県教育の推進状況について自己評価し、「生きる力」を育む教育の在り方に関する課題と今後の方策について検討するとともに、本県における基礎基本の確実な習得を図るための指導方法の課題と工夫改善のあり方を明確にするため、学習状況調査を実施する。
- (2) 調査内容等
- ア ペーパーテスト調査
- 実施教科
- ・小学校（第5学年） 国語・算数
  - ・中学校（第2学年） 国語・数学・英語
- 実施時間
- ・1教科で1単位時間分（小学校：45分 中学校：50分）
- イ 児童生徒用質問紙調査
- ・ペーパーテスト調査と併せて実施する。（45分）
- ウ 教師用質問紙調査及び保護者用質問紙調査
- ・回答に要する時間に制限はなし
- エ 調査時期 平成16年3月
- (3) 調査結果
- ・平成16年度に分析・考察予定
  - ・指導方法の工夫改善を図る資料として活用

## ・学力向上推進協議会について

- (1) 開催時期及び参加者
- （第1回）平成15年 5月12日（指導主事）
  - （第2回）平成15年12月19日（指導主事）

- (2) 協議会の主な内容等
- （第1回）
- ・趣旨：フロンティアスクールの実践研究に対する支援について
  - ・主な協議内容
    - ・学力向上フロンティア事業の趣旨について
    - ・地区別学力向上推進協議会及び地区別研修会の開催について
- （第2回）
- ・趣旨：学力向上フロンティア事業の成果及び課題について
  - ・主な協議内容
    - ・学習状況調査の実施について
    - ・各地区での取組状況（成果及び課題）について
    - ・地区別学力向上推進協議会の成果物作成について

・実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

- (1) 事業評価の実施方法・内容
  - ・地区別研修会を県下10地域で開催し、授業研究や研究協議等を通して、全ての学校に対して本事業の成果を普及啓発を行った。小・中学校等から約1,500名の参加者のもと実施した。
- (2) 進捗状況（成果、課題等）
  - ・フロンティアスクールの研究の成果を冊子にまとめ、広く情報提供に努めた。
  - ・地域の人材等学校支援ボランティアの積極的な導入を図るため、人材派遣リストを作成し、ホームページで人材を検索することができるバンクシステムを構築した。（「いきいき学校」応援事業）

【地区別協議会における特色ある取組】

- (1) 地区内の学校に対する支援策
  - ・市教育委員会と連携し、フロンティアスクール校の訪問指導を実施するとともに、フロンティアティーチャー担当者の研修会を開催（北播磨地区）
  - ・市町教委指導主事及び重点推進校の校長を集めて特別研修を実施（阪神北地区）
  - ・学校訪問による指導（神戸・東播磨地区）
- (2) 実践研究の成果の普及方策
  - ・学力向上フロンティア事業に係る研修会のまとめをホームページに公開（中播磨地域）
  - ・個に応じた指導に係る特色ある学校事例をホームページで公開（阪神北地域）
  - ・フロンティアスクールの取組をまとめたCDを作成（但馬地区）
  - ・市町教育委員会の広報誌にフロンティアスクールの取組を掲載（丹波地区）